

平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕 (連結)

平成22年8月9日

上場会社名 大成温調株式会社 上場取引所 JQ  
 コード番号 1904 URL <http://www.aisei-oncho.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山口 隆義  
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員管理本部長 (氏名) 河村 和平 (TEL) 03 (5742) 7301  
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有・無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有・無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第1四半期の連結業績 (平成22年4月1日～平成22年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	6,591	△25.1	△298	—	△242	—	△104	—
22年3月期第1四半期	8,805	△2.7	△43	—	54	—	37	—

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
23年3月期第1四半期	△7	87	—	—
22年3月期第1四半期	2	73	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭
23年3月期第1四半期	31,766		17,956		56.5	1,351	02
22年3月期	35,422		18,312		51.7	1,377	56

(参考) 自己資本 23年3月期第1四半期 17,956百万円 22年3月期 18,312百万円

2. 配当の状況

	年間配当金							
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭
22年3月期	—	—	0	00	—	—	15	00
23年3月期	—	—						
23年3月期 (予想)			0	00	—	—	13	00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 有・無

3. 平成23年3月期の連結業績予想 (平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期 (累計) は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期 (累計)	19,000	△7.2	△200	—	△175	—	△150	—	△11	10
通期	45,000	1.5	570	△23.8	630	△29.7	280	△35.9	20	72

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 有・無

4. その他（詳細は、【添付資料】3ページ「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動：有・無

新規 一社（ ー ） 、除外 一社（ ー ）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：有・無

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更：有・無

② ①以外の変更：有・無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年3月期1Q	14,364,975株	22年3月期	14,364,975株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

23年3月期1Q	1,073,683株	22年3月期	1,071,709株
----------	------------	--------	------------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

23年3月期1Q	13,292,846株	22年3月期1Q	13,647,297株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

## 【添付資料】

## 添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 .....	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	P. 2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	P. 3
2. その他の情報 .....	P. 3
(1) 重要な子会社の異動の概要 .....	P. 3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	P. 3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	P. 3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	P. 3
3. 四半期連結財務諸表 .....	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書 .....	P. 6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	P. 7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	P. 9
(5) セグメント情報 .....	P. 9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	P. 11
4. 補足情報 .....	P. 12
生産、受注及び販売の状況 .....	P. 12

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、中国を中心としたアジア地域の景気回復基調による輸出の増加や、国内の経済対策の効果などにより企業業績は回復の兆しが見られましたが、欧州諸国の財政問題に端を発する世界景気の先行き不透明感から、予断を許さない状況で推移いたしました。

当社グループ関連の建設業界におきましても公共工事の削減、民間設備投資の抑制等により、厳しい経営環境下にありました。

このような状況のもと、当社グループの当第1四半期連結会計期間の受注高は前年同四半期比6.4%減の107億89百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間の業績につきましては、売上高は65億91百万円（前年同四半期比25.1%減）となり、営業損失は2億98百万円（前年同四半期は営業損失43百万円）、経常損失は2億42百万円（前年同四半期は経常利益54百万円）、四半期純損失は1億4百万円（前年同四半期は四半期純利益37百万円）となりました。

なお、当社グループの売上高は、通常の営業形態として、連結会計年度末に完成する工事の割合が大きくなる傾向があり、一方、販売費及び一般管理費などの固定費は各四半期にほぼ均等に発生するため、利益が連結会計年度末に偏るといった季節の変動があります。

セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、新たなセグメントに組替えて記載しておりますので、前年同期比較は記載しておりません。

## ① 日本

売上高につきましては、57億80百万円となり、セグメント損失は2億14百万円となりました。

## ② 米国

売上高につきましては6億98百万円となり、セグメント損失は51百万円となりました。

## ③ 中国

売上高につきましては1億12百万円となり、セグメント損失は32百万円となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## (資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産の残高は317億66百万円となり、前連結会計年度末に比べ36億56百万円の減少となりました。その主な要因といたしましては現金預金が9億77百万円、受取手形・完成工事未収入金等が40億5百万円それぞれ減少し、有価証券が4億99百万円、未成工事支出金が6億48百万円、それぞれ増加したこと等によるものであります。

## (負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債の残高は138億9百万円となり、前連結会計年度末に比べ33億円の減少となりました。その主な要因といたしましては、支払手形・工事未払金等が23億90百万円、退職給付引当金が12億59百万円それぞれ減少し、未成工事受入金が3億5百万円増加したこと等によるものです。

## (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は179億56百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億55百万円の減少となりました。その主な要因といたしましては、利益剰余金が3億4百万円、その他有価証券評価差額金が79百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

## (キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ4億77百万円減少し、当第1四半期連結会計年度末には88億72百万円（前連結会計年度比5.1%減）となりました。

当第1四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## ① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動により使用した資金は4億70百万円（前年同四半期は17億64百万円の獲得）となりました。これは主に、資金減少要因である退職給付引当金の減少額、未成工事支出金の増加額及び仕入債務の減少額が資金増加要因である売上債権の減少額を上回ったこと等によるものであります。

## ② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動により使用した資金は1億83百万円（前年同四半期比61.9%減）となりました。これは主に、貸付により使用したものであります。

## ③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動により結果獲得した資金は1億82百万円（前年同四半期比35.0%減）となりました。これは主に、短期借入による収入が短期借入金の返済による支出や配当金の支払額を上回ったこと等によるものであります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、現時点では、当初予想の範囲内と考えており、平成22年5月17日に公表いたしました「平成22年3月期 決算短信」の業績予想の変更はいたしません。なお、業績修正が必要と判断された場合には、速やかに別途お知らせいたします。

## 2. その他の情報

## (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

## (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

## ① 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

## ② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

## ③ 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

税金費用につきましては、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

## (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

## 「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、営業損失及び経常損失はそれぞれ155千円増加し、税金等調整前四半期純損失は7,069千円増加しております。

## (4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金預金	9,650,386	10,627,626
受取手形・完成工事未収入金等	11,332,438	15,337,850
有価証券	530,135	30,253
未成工事支出金	1,592,896	944,657
商品	7,004	2,623
原材料	85,638	74,903
繰延税金資産	344,910	345,110
その他	1,133,928	864,773
貸倒引当金	△69,240	△67,268
流動資産合計	24,608,098	28,160,530
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物	3,681,107	3,675,964
機械、運搬具及び工具器具備品	846,391	904,446
土地	1,882,387	1,881,791
その他	63,713	63,625
減価償却累計額	△2,818,043	△2,835,195
有形固定資産合計	3,655,556	3,690,631
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	1,307,847	1,336,708
長期貸付金	219,593	223,751
繰延税金資産	709,944	703,538
その他	1,646,541	1,692,652
貸倒引当金	△438,682	△445,818
投資その他の資産合計	3,445,244	3,510,833
固定資産合計	7,158,474	7,262,220
資産合計	31,766,573	35,422,750

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	9,533,076	11,923,148
短期借入金	710,000	360,000
未払法人税等	22,862	243,914
未成工事受入金	1,715,078	1,409,816
賞与引当金	132,529	267,678
役員賞与引当金	—	32,850
完成工事補償引当金	27,259	36,160
工事損失引当金	338,224	365,292
その他の引当金	23,758	23,311
その他	680,022	552,461
流動負債合計	13,182,811	15,214,632
固定負債		
長期借入金	619	712
退職給付引当金	441,287	1,700,455
その他の引当金	7,469	6,716
負ののれん	85,886	90,406
その他	91,673	97,559
固定負債合計	626,937	1,895,849
負債合計	13,809,748	17,110,482
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,195,057	5,195,057
資本剰余金	5,087,248	5,087,248
利益剰余金	8,246,168	8,550,176
自己株式	△304,856	△304,190
株主資本合計	18,223,617	18,528,291
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	98,362	177,421
為替換算調整勘定	△365,155	△393,443
評価・換算差額等合計	△266,792	△216,022
純資産合計	17,956,824	18,312,268
負債純資産合計	31,766,573	35,422,750

(2) 四半期連結損益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高		
完成工事高	8,612,984	6,414,948
その他の事業売上高	192,173	176,265
売上高合計	8,805,158	6,591,213
売上原価		
完成工事原価	7,720,207	5,842,402
その他の事業売上原価	142,101	130,694
売上原価合計	7,862,309	5,973,097
売上総利益		
完成工事総利益	892,776	572,546
その他の事業総利益	50,072	45,570
売上総利益合計	942,849	618,116
販売費及び一般管理費	986,674	916,211
営業損失(△)	△43,825	△298,095
営業外収益		
受取利息及び配当金	21,478	19,222
受取保険金	62,923	57,965
投資有価証券売却益	76	—
為替差益	5,751	—
その他	11,787	10,479
営業外収益合計	102,017	87,667
営業外費用		
支払利息	3,180	1,846
為替差損	—	29,310
その他	114	791
営業外費用合計	3,295	31,948
経常利益又は経常損失(△)	54,896	△242,376
特別利益		
貸倒引当金戻入額	11,631	3,871
退職給付制度改定益	—	149,355
特別利益合計	11,631	153,227
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	6,914
特別損失合計	—	6,914
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	66,527	△96,062
法人税等	29,208	8,546
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	△104,609
四半期純利益又は四半期純損失(△)	37,319	△104,609

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	66,527	△96,062
減価償却費	46,136	41,312
負ののれん償却額	△4,520	△4,520
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△71,506	△5,498
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△38,200	△32,850
賞与引当金の増減額(△は減少)	△137,838	△135,149
退職給付引当金の増減額(△は減少)	64,164	△1,109,811
完成工事補償引当金の増減額(△は減少)	155	△8,982
工事損失引当金の増減額(△は減少)	19,231	△27,068
その他の引当金の増減額(△は減少)	5,373	892
受取利息及び受取配当金	△21,478	△19,222
受取保険金	△62,923	△57,965
支払利息	3,180	1,846
為替差損益(△は益)	△4,221	21,698
投資有価証券売却損益(△は益)	△76	—
退職給付制度改定益	—	△149,355
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	6,914
売上債権の増減額(△は増加)	6,423,181	4,023,408
未成工事支出金等の増減額(△は増加)	△689,633	△660,255
立替金の増減額(△は増加)	△355,508	△38,004
未収消費税等の増減額(△は増加)	△44,815	14,924
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,373,024	△2,392,964
未成工事受入金の増減額(△は減少)	△777,993	300,346
預り金の増減額(△は減少)	66,878	68,142
未払消費税等の増減額(△は減少)	△220,426	△1,575
その他	△96,640	△67,877
小計	1,796,022	△327,679
利息及び配当金の受取額	20,865	17,461
保険金の受取額	62,923	82,446
利息の支払額	△3,180	△1,846
法人税等の支払額	△112,543	△240,567
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,764,086	△470,186

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△508,000	△15,991
定期預金の払戻による収入	8,000	8,000
有形固定資産の取得による支出	△64,401	△8,278
有形固定資産の売却による収入	—	6,302
有価証券の売却及び償還による収入	100,000	—
投資有価証券の取得による支出	△16,292	△20,710
投資有価証券の売却による収入	207	—
貸付けによる支出	—	△200,000
会員権の売却による収入	1,076	200
その他	△1,909	47,035
投資活動によるキャッシュ・フロー	△481,319	△183,443
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	810,000	710,000
短期借入金の返済による支出	△360,000	△360,000
長期借入金の返済による支出	△4,991	△99
リース債務の返済による支出	△4,562	△5,539
自己株式の売却による収入	143	—
自己株式の取得による支出	△317	△666
配当金の支払額	△160,109	△161,595
財務活動によるキャッシュ・フロー	280,162	182,098
現金及び現金同等物に係る換算差額	78,820	△5,831
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,641,750	△477,362
現金及び現金同等物の期首残高	8,825,661	9,349,626
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,467,412	8,872,263

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

[事業の種類別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)

	設備工事業 (千円)	不動産賃貸事 業 (千円)	その他の事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	8,612,984	51,728	140,445	8,805,158	—	8,805,158
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	1,429	50,165	51,595	(51,595)	—
計	8,612,984	53,157	190,611	8,856,753	(51,595)	8,805,158
営業利益又は営業損失 (△)	△71,912	29,273	1,368	△41,270	(2,554)	△43,825

(注) 事業区分の方法及び各区分に属する主要な事業内容

## (1) 事業区分の方法

日本標準産業分類及び四半期連結損益計算書の売上集計区分を勘案して区分しております。ただし、不動産賃貸事業については、四半期連結損益計算書のその他の事業売上高より区分いたしました。

## (2) 各区分に属する主要な事業の内容

設備工事業 : 空調及び給排水衛生設備工事に関する事業

不動産賃貸事業 : 業務用及び住居用の土地建物の賃貸に関する事業

その他の事業 : 冷暖房機器等の販売他

[所在地別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)

	日本 (千円)	アジア・豪州 (千円)	北米 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	6,639,159	574,237	1,591,761	8,805,158	—	8,805,158
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	14,500	—	—	14,500	(14,500)	—
計	6,653,659	574,237	1,591,761	8,819,658	(14,500)	8,805,158
営業利益又は営業損失 (△)	△117,649	10,146	63,689	△43,813	(11)	△43,825

(注) 国又は地域の区分の方法及び各地域に属する主な国又は地域

(1) 国又は地域の区分の方法 地理的近接度によっております。

(2) 各区分に属する主な国又は地域 アジア・豪州 : 中国・オーストラリア  
北米 : 米国

## 〔海外売上高〕

前第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年6月30日）

	アジア・豪州	北米	計
I 海外売上高（千円）	573,138	1,591,761	2,164,899
II 連結売上高（千円）			8,805,158
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	6.5	18.1	24.6

(注) 1. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

2. 国又は地域の区分の方法及び各地域に属する主な国又は地域

(1) 国又は地域の区分の方法 地理的近接度によっております。

(2) 各区分に属する主な国又は地域 アジア・豪州：中国・オーストラリア  
北米：米国

## 〔セグメント情報〕

## 1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、主に設備工事業を営んでおり、国内においては当社及び温調エコシステムズ(株)が、海外においては米国、中国等の各地域をTAISEIONCHO HAWAII, INC. (米国)、大成温調機電工程(上海)有限公司(中国)及びその他の現地法人が、それぞれ担当しております。現地法人はそれぞれ独立した経営単位であり、施工する工事について各地域の包括的な戦略を立案し、事業活動を行っております。

したがって、当社グループは設備工事業を基礎とした地域別のセグメントから構成されており、「日本」、「米国」及び「中国」の3つを報告セグメントとしております。

また、温調エコシステムズ(株)においては設備工事業のほか、冷暖房機器等の販売をしております。

## 2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第1四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年6月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	日本	米国	中国	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,780,167	698,988	112,057	6,591,213	—	6,591,213
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	5,780,167	698,988	112,057	6,591,213	—	6,591,213
セグメント損失(△)	△214,132	△51,595	△32,172	△297,900	△281	△298,181

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、豪州の現地法人の事業活動を含んでおります。

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

損失(△)	金額
報告セグメント計	△297,900
「その他」の区分の損失(△)	△281
セグメント間取引消去	86
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△298,095

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。

## 4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

## (1) 受注実績

当第1四半期連結会計期間の受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結会計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	前年同四半期比 (%)
日本 (千円)	9,387,318	—
米国 (千円)	1,158,385	—
中国 (千円)	244,097	—
報告セグメント計 (千円)	10,789,800	—
その他 (千円)	—	—
合計 (千円)	10,789,800	—

(注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## (2) 売上実績

当第1四半期連結会計期間の売上実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結会計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	前年同四半期比 (%)
日本 (千円)	5,780,167	—
米国 (千円)	698,988	—
中国 (千円)	112,057	—
報告セグメント計 (千円)	6,591,213	—
その他 (千円)	—	—
合計 (千円)	6,591,213	—

(注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

なお、参考のため提出会社個別の事業の状況は次のとおりであります。

設備工事業における受注工事高及び完成工事高の状況

受注工事高、完成工事高、繰越工事高

期別	区分	期首繰越工事高 (千円)	期中受注工事高 (千円)	計 (千円)	期中完成工事高 (千円)	期末繰越工事高 (千円)
前第1四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	一般施設工事	21,253,317	6,573,785	27,827,103	2,997,743	24,829,359
	産業施設工事	4,193,778	1,004,517	5,198,296	1,625,314	3,572,982
	営繕・保守工事	2,600,444	2,828,078	5,428,522	1,848,486	3,580,035
	計	28,047,540	10,406,381	38,453,921	6,471,544	31,982,377
当第1四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	一般施設工事	21,995,050	4,242,006	26,237,056	3,044,010	23,193,046
	産業施設工事	2,707,098	1,772,214	4,479,312	609,278	3,870,033
	営繕・保守工事	2,655,151	3,196,832	5,851,983	1,950,613	3,901,369
	計	27,357,299	9,211,053	36,568,352	5,603,902	30,964,450
前事業年度 (自平成21年4月1日 至平成22年3月31日)	一般施設工事	21,253,317	22,636,505	43,889,823	21,894,773	21,995,050
	産業施設工事	4,193,778	4,292,350	8,486,128	5,779,030	2,707,098
	営繕・保守工事	2,600,444	10,068,479	12,668,923	10,013,772	2,655,151
	計	28,047,540	36,997,335	65,044,875	37,687,576	27,357,299

(注) 1. 前事業年度以前に受注した工事で、契約の変更により請負金額の増減がある場合、期中受注工事高にその増減額が含まれております。したがって、期中完成工事高にも係る増減額が含まれております。

2. 期末繰越工事高は(期首繰越工事高+期中受注工事高-期中完成工事高)に一致しております。